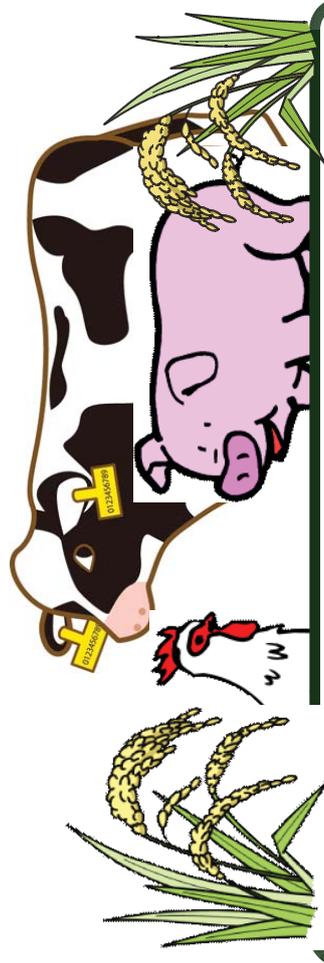


稲発酵粗飼料、飼料用米を生産する ～耕種農家の皆さまへ～

～安全な飼料から安全な畜産物へ～



- ・安全な飼料は、安全な畜産物の源です。
- ・農薬の使用が必要な場合は、適正に使用しましょう。
- ・カビや腐敗が発生しないように、適切な飼料の調製・保管を行いましょう。

～飼料製造業者の届出について～

自ら生産した稲を用いて発酵粗飼料等を製造し、畜産農家へ販売する場合には、飼料安全法に基づく飼料製造業者届を提出する必要があります。ありません。

なお、稲発酵粗飼料等を販売する場合は、生産履歴を記録し保管しましょう。適切な生産を行っていることの証拠になります。

関連情報

稲発酵粗飼料等の生産についての関係情報は、下記ホームページに掲載しておりますので参照して下さい。

- 飼料の安全関係
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/siryo/index.html>
- 稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル
http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/1_siryo/ine_manual/
- 多収米栽培マニュアル
http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/tasyumai/t_manual/
- 飼料として使用する粳米への農薬の使用について
(独) 農林水産消費安全技術センター
http://www.famic.go.jp/ffis/feed/tuti/24_4222.html

問い合わせ

ご不明な点がございましたら、各都道府県、各農政局の飼料担当窓口又は下記までお問い合わせ下さい。

- 飼料の安全確保に関する制度について
農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課
飼料検査指導班 TEL:03-3502-8111 内線4537
- 稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルについて
農林水産省生産局畜産部畜産振興課
飼料生産計画班 TEL:03-3502-8111 内線4925

～安全な飼料から安全な畜産物へ～

下記のポイントに注意して安全な飼料を供給しましょう

～ポイント1 農薬の適切な使用～

- 1 病害虫抵抗性品種の導入や予察防除により、農薬の使用量の削減を図りましょう。
- 2 雑草防除は、適期に行うのが基本です。
- 3 稲に適用のある農薬だけを、ラベルの使用方法を守って使用しましょう。

農薬等による病害虫や雑草防除が必要な場合には、稲に適用のある農薬の中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬等を、地域の農業改良普及センターなどの指導に従って作型や病害虫・雑草の発生動向等を参考に選定して使用して下さい。

● 稲発酵粗飼料(稲 WCS)用の稲に農薬を用いる場合

農薬のラベルに使用時期が「収穫〇日前まで」とある場合の「収穫」とは、稲発酵粗飼料用の稲の収穫(黄熟期)に当たります。すなわち、防除の期間を食用の稲より1週間～10日程度早めなければならぬことに注意して下さい。

なお、稲用に登録されている農薬のうち、稲発酵粗飼料用の稲に使用出来る農薬は、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に掲載されています。

● 粃米を飼料に用いる場合

多くの場合、粃米は、玄米に比べて農薬の残留濃度が高いので、出穂以降に農薬の散布を行う場合は、粃すりをして玄米で供給しましょう。

粃米のまま、もしくは粃穀を含めて家畜に給与する場合は、出穂以降に使用出来る農薬の種類が限られていることに注意して下さい。

出穂以降に使用出来る農薬については、最終頁の関連情報を参照して下さい。

～ポイント2 カビや腐敗の防止～

- 1 水分管理に注意しましょう。
- 2 稲発酵粗飼料の調製では、乳酸発酵を促進するために梱包密度を高めましょう。
- 3 稲発酵粗飼料は、給与まで密封状態を保つことが重要です。

飼料を調製する際の水分管理や保管時の水濡れなどに注意して、カビの発生や腐敗を防止しましょう。

● 稲発酵粗飼料を調製する場合

1. 収穫適期や予乾による水分調整(40～60%)に努めるとともに、密封することで発酵品質の確保を図りましょう。
2. 鳥害、ネズミ害対策を行うとともに、ラップフィルムが破損した場合は、速やかに補修しましょう。
3. 材料の稲とフィルムの間に空気が侵入すると腐敗しやすくなるので、輸送時に口ローを変形させないよう丁寧に取扱いましょう。
4. 排水が良好で平坦な場所(コンクリート盤や砂利の上など)に保管しましょう。

● 飼料用米を乾燥調製する場合

収穫後の粃は水分が高く、そのままの状態では、カビの発生や腐敗を招きます。

収穫後は、出来るだけ早く乾燥作業を行いましょう。乾燥中は食用米と同様、穀温・粃水分・外気温の監視を行うほか、貯蔵性を高めるため、水分は15%程度に仕上げましょう。